

小河原地区の復興まちづくりと被災跡地利用について

1. 復旧・復興事業の状況

市・県では、小河原地区の早期復興に向けて各種復旧・復興事業に取り組んでいます。

■小河原地区における復旧・復興事業（位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照）

区分	事業名	総事業費 (千円)	内容	図上 番号	完了年次	事業 主体
災害公営 住宅	災害公営住宅整備事業		災害公営住宅の整備を進めました。			
	平林①	327,808	鉄筋コンクリート造 3階建 11戸 延床面積 832㎡	①	平成26年度	住宅公 園課
	平林②	1,333,341	鉄筋コンクリート造 4階建 55戸 延床面積 3,712㎡	②	平成27年度	岩手県
高台移転	防災集団移転促進事業		居住が適当でない区域内にある 住居の集団移転地の整備を進め ました。			復興政 策課
	小河原地区①		29区画	③	平成27年度	市街地 整備課
	小河原地区②	1,916,492	6区画	④	平成27年度	
	小河原地区③		6区画	⑤	平成26年度	
	門之浜地区	474,485	13区画	⑥	平成25年度	
梅神地区	437,521	13区画	⑦	平成27年度		
道 路	まちづくり連携道路整備事業		末崎地区の幹線道路として、2車 線道路を整備します。			岩手県
	主要地方道大船渡 広田陸前高田線	2,100,000	延長=約2.2km、幅員=10.0m	⑧	平成30年度	
	一般県道 基石海岸線	2,400,000	延長=約2.7km、幅員=10.0m	⑨	平成30年度	
	道路新設事業 (小河原地区)	942,764	堤防機能を付加した集落の接続 道路を整備します。 延長=1,020m、幅員=8.5m	⑩	平成29年度	建設課
漁 港	漁港関係施設等災害復 旧事業（門の浜漁港）	9,600,000	被災した漁港の防波堤や岸壁、防 潮堤等の復旧を進めています。	⑪	平成29年度	岩手県

2. 被災跡地の買取り

市では、防災集団移転促進事業により一定の要件を
満たす被災跡地の買取りを進めています。

小河原地区における被災跡地の買取りは、次のよう
に見込まれます。

■被災跡地の買取り（見込み）

区 分	小河原地区
被災跡地数	155筆
被災跡地面積	41,003㎡

3. 被災跡地（買取地）利用の取組

小河原地区の被災跡地（買取地）の利用にあたっては、地域と市が協働で次のように取り組んで
いきます。

① 企業誘致を図るための産業用地の整備

買取地の規模や連担状況を踏まえ、雇用機会の創出や地域産業の振興、地域経済の活性化
を図るため、企業誘致を行う産業用地を整備します。

② 利用ルールに基づく買取地の活用

産業用地として活用する区域の周辺は、地域において積極的かつ柔軟に買取地を利用でき
るよう、利用ルールに基づく有効活用を促進します。

■小河原区における検討中の取組（位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照）

区 分	取組項目	取組の概要	図上 記号
復旧・復興事業 として 事業主体:市	産業用地の確保	道路や公園などの基盤施設を再編するとともに、 整地等を行い、企業誘致を行うための産業用地 を整備します。	Ⓐ